

企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2010年3月調査）

2010年4月

株式会社 日通総合研究所

目次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 国内向け出荷量の動向	3
2. 輸送機関利用の動向	7
(1) 一般トラック	8
(2) 特別積合せトラック	9
(3) 宅配便	10
(4) 鉄道コンテナ	11
(5) 内航コンテナ	12
(6) 国内航空	13
3. 輸出入貨物量の動向	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー	16
(3) 国際航空 ー輸出ー	17
(4) 国際航空 ー輸入ー	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向	19
(1) 在庫量 ー原材料ー	20
(2) 在庫量 ー製品ー	21
(3) 営業倉庫保管量	22
5. 運賃・料金の動向	23
(1) 一般トラック運賃	24
(2) 特別積合せトラック運賃	25
(3) 鉄道コンテナ運賃	26
(4) 内航コンテナ運賃	27
(5) 国内航空運賃	28
(6) 営業倉庫保管料金	29
6. 物流コスト割合の動向	30

I. 調査の内容

目的 : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方法 : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標^(*)とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[\begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象 : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

—今回調査の回収・集計状況—

今回調査は、2010年1～3月の実績と2010年4～6月の見通しを3月初旬時点でうかがったものであり、1,067社からご協力をいただき、回答率は42.7%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

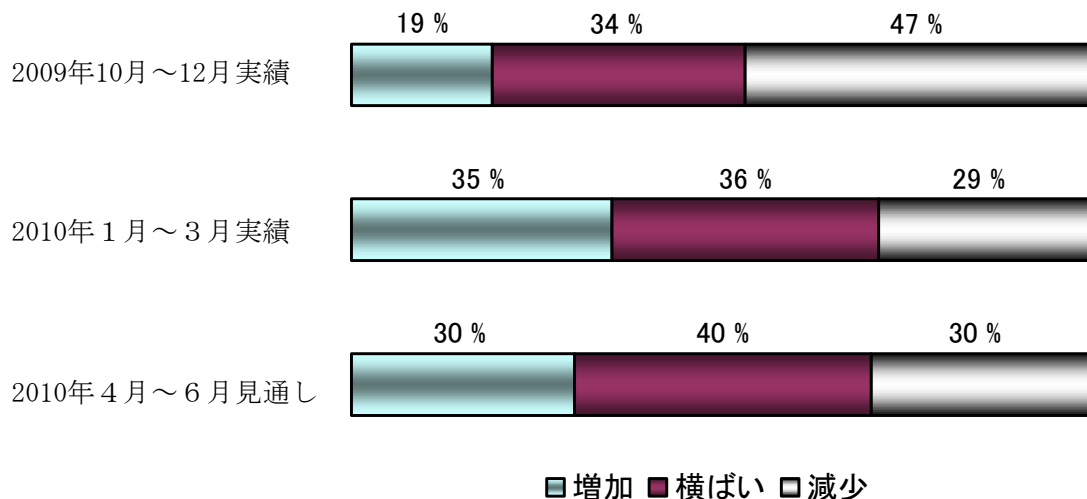
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	102	44.0
	繊 維 ・ 衣 服	111	44	39.6
	木 材 ・ 家 具	96	39	40.6
	パ ル プ ・ 紙	107	53	49.5
	化学・プラスチック	238	108	45.4
	窯 業 ・ 土 石	102	39	38.2
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	196	108	55.1
	金 属 製 品	128	54	42.2
	一 般 機 械	222	96	43.2
	電 気 機 械	333	141	42.3
	輸 送 用 機 械	250	95	38.0
	精 密 機 械	67	27	40.3
	そ の 他	167	55	32.9
	計	2,249	961	42.7
卸 売 業	生 産 財	124	56	45.2
	消 費 財	127	50	39.4
	計	251	106	42.2
合 計		2,500	1,067	42.7

Ⅱ. 調査の結果

－ 1. 国内向け出荷量の動向－

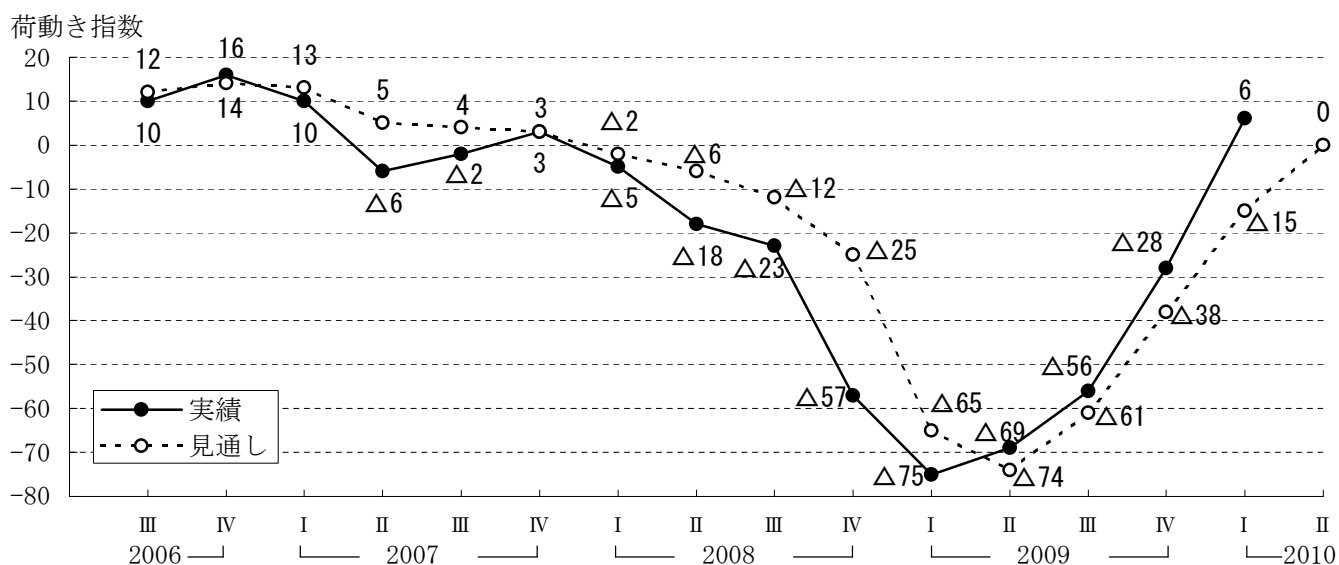
- 2010年1～3月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（2009年10～12月）実績より16ポイント上昇し35%となった。一方、「減少」との回答は前期より18ポイント低下し29%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は34ポイント上昇してプラス6となった。
- 2010年4～6月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（2010年1～3月）実績（見込み）より5ポイント低下し30%となり、「減少」との回答は1ポイント上昇し30%になる。この結果『荷動き指数』は6ポイント低下してゼロ水準と見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2010年1～3月実績（見込み）では前期（2009年10～12月）実績より34ポイント上昇してプラス6となり、2007年10～12月以来9期ぶりにプラス水準まで浮上した。しかし、2010年4～6月見通しでは6ポイント低下して、ゼロ水準まで下降する見通しであり、荷動きには持ち直しの動きがみられるものの、依然として力強さに欠ける展開となっている。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2010年II期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2010年I期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

■ 2010年1～3月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、鉄鋼・非鉄、輸送用機械、化学・プラスチックなど6業種において『荷動き指数』がプラスとなる一方で、食料品・飲料、繊維・衣服など9業種がマイナスにとどまるなど、業種により跛行性がみられた。

■ 2010年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、前期（2010年1～3月）実績（見込み）よりも『荷動き指数』が下降する業種が多く、プラスが見込まれるのは鉄鋼・非鉄、化学・プラスチック、その他の製造業など5業種となろう。総じて素材型の生産財には持ち直しの動きが顕著であるが、消費財についてはバラツキがみられ、投資財はまだ水面下の動きとなっている。

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種	2010年1月～3月実績					2010年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	101	12	50	38	△ 26	99	19	60	21	△ 2	
繊維・衣服	44	18	39	43	△ 25	44	13	39	48	△ 35	
木材・家具	38	24	37	39	△ 15	38	16	47	37	△ 21	
パルプ・紙	52	38	27	35	3	52	33	30	37	△ 4	
化学・プラスチック	108	38	40	22	16	108	32	50	18	14	
窯業・土石	39	36	23	41	△ 5	39	28	31	41	△ 13	
鉄鋼・非鉄	106	60	26	14	46	106	52	23	25	27	
金属製品	49	33	30	37	△ 4	49	24	39	37	△ 13	
一般機械	94	33	33	34	△ 1	94	26	38	36	△ 10	
電気機械	138	41	28	31	10	138	33	33	34	△ 1	
輸送用機械	94	51	29	20	31	93	39	32	29	10	
精密機械	27	30	37	33	△ 3	26	38	27	35	3	
その他	52	31	46	23	8	51	37	39	24	13	
計	942	36	34	30	6	937	32	38	30	2	
卸売業	生産財	55	22	49	29	△ 7	55	24	51	25	△ 1
	消費財	48	17	50	33	△ 16	48	13	60	27	△ 14
	計	103	19	50	31	△ 12	103	18	56	26	△ 8
合計	1,045	35	36	29	6	1,040	30	40	30	0	

■ 2010年1～3月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、本州の各地域はプラスを示し、とりわけ北陸・信越、東海、中国では2ケタのプラスとなった。一方、北海道、四国、九州・沖縄ではいずれもマイナスにとどまり、地域差が顕著に表れる結果となった。

■ 2010年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、北海道でマイナス幅の縮小が見込まれるものの、残りの地域では総じて悪化しよう。また、引き続き地域差がみられ、北海道の△17から北陸・信越のプラス13の範囲でまだら模様となっている。

国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

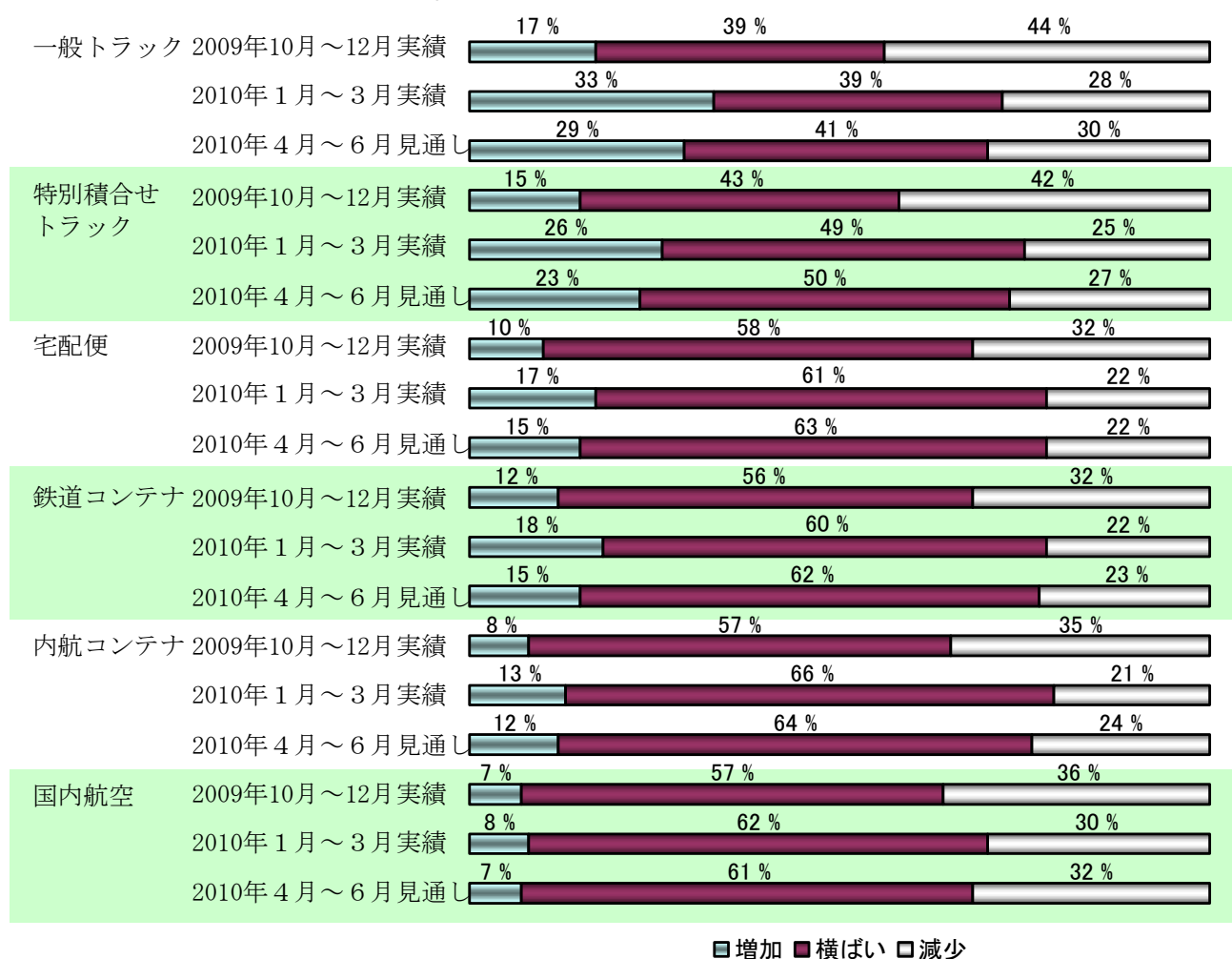
地 域	2010年1月～3月実績					2010年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	47	23	26	51	△ 28	47	17	49	34	△ 17
東 北	85	33	36	31	2	85	28	41	31	△ 3
関 東	258	34	33	33	1	255	31	38	31	0
北 陸 ・ 信 越	113	38	41	21	17	112	36	41	23	13
東 海	143	43	31	26	17	142	38	30	32	6
近 畿	154	34	36	30	4	154	29	37	34	△ 5
中 国	99	39	41	20	19	99	31	48	21	10
四 国	62	29	37	34	△ 5	62	22	47	31	△ 9
九 州 ・ 沖 縄	84	26	43	31	△ 5	84	25	45	30	△ 5
合 計	1,045	35	36	29	6	1,040	30	40	30	0

－ 2. 輸送機関利用の動向－

■ 2010年1～3月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』をみると、すべての輸送機関で前期（2009年10～12月）実績より上昇し、一般トラックおよび特別積合せトラックではプラスに反転した。

■ 2010年4～6月の見通しでは、すべての輸送機関で『利用動向指数』が低下し、プラスの輸送機関は皆無となる。このため、利用回復に向けての足取りは重いといえる。

各輸送機関の利用の実績と見通し



(1) 一般トラック

■ 2010年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、鉄鋼・非鉄など6業種がプラス、パルプ・紙および金属製品がゼロ水準で、食料品・飲料など7業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』はプラス5で、前期（2009年10～12月）実績からは32ポイントの大幅な上昇がみられた。

■ 2010年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、電気機械、窯業・土石など4業種がマイナスに落ち込み、全15業種中11業種がマイナスを示す。業種全体の『利用動向指数』は6ポイント下降して△1と僅かながら再び水面下に沈み、利用回復に向けての動きは安定性を欠くものとなっている。

一般トラック利用の実績と見通し

業種	2010年1月～3月実績					2010年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	99	8	58	34	△26	94	15	61	24	△9
繊維・衣服	36	16	42	42	△26	36	17	44	39	△22
木材・家具	38	22	39	39	△17	38	13	50	37	△24
パルプ・紙	53	32	36	32	0	51	27	40	33	△6
化学・プラスチック	106	38	40	22	16	105	31	52	17	14
窯業・土石	38	39	29	32	7	37	32	32	36	△4
鉄鋼・非鉄	105	57	30	13	44	104	50	25	25	25
金属製品	53	34	32	34	0	52	27	38	35	△8
一般機械	89	29	41	30	△1	89	22	43	35	△13
電気機械	129	40	32	28	12	127	31	31	38	△7
輸送用機械	91	45	34	21	24	90	35	37	28	7
精密機械	24	24	38	38	△14	23	35	26	39	△4
その他	53	30	51	19	11	51	40	35	25	15
計	914	34	39	27	7	897	30	40	30	0
卸売業										
生産財	49	20	47	33	△13	50	18	52	30	△12
消費財	43	19	44	37	△18	42	14	55	31	△17
計	92	19	46	35	△16	92	16	54	30	△14
合計	1,006	33	39	28	5	989	29	41	30	△1

(2) 特別積合せトラック

■ 2010年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、鉄鋼・非鉄など7業種がプラス、繊維・衣服など8業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』はプラス1で、前期（2009年10～12月）実績からは28ポイントの上昇となった。

■ 2010年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、木材・家具がゼロ水準まで上昇する一方、電気機械がマイナスに沈み、金属製品もゼロ水準まで低下する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は5ポイント下降して△4とマイナスに反転し、利用は再び減退方向に動く見通しである。

特別積合せトラック利用の実績と見通し

業種	2010年1月～3月実績					2010年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	59	12	63	25	△13	57	14	67	19	△5
	繊維・衣服	38	10	45	45	△35	37	14	43	43	△29
	木材・家具	26	19	58	23	△4	26	15	70	15	0
	パルプ・紙	29	28	28	44	△16	28	18	39	43	△25
	化学・プラスチック	89	34	47	19	15	89	27	55	18	9
	窯業・土石	28	42	29	29	13	28	43	36	21	22
	鉄鋼・非鉄	65	38	50	12	26	65	34	48	18	16
	金属製品	41	29	44	27	2	41	29	42	29	0
	一般機械	70	21	48	31	△10	70	20	49	31	△11
	電気機械	96	28	47	25	3	95	25	40	35	△10
	輸送用機械	64	34	47	19	15	65	29	45	26	3
	精密機械	16	18	44	38	△20	15	13	54	33	△20
	その他	41	34	56	10	24	39	33	46	21	12
計	662	28	48	24	4	655	25	48	27	△2	
卸売業	生産財	41	14	54	32	△18	40	12	58	30	△18
	消費財	31	6	68	26	△20	30	3	70	27	△24
	計	72	11	60	29	△18	70	8	63	29	△21
合計	734	26	49	25	1	725	23	50	27	△4	

(3) 宅配便

■ 2010年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、プラスの業種が鉄鋼・非鉄、その他の製造業など4業種にとどまり、残り11業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△5で、前期（2009年10～12月）実績との比較では17ポイントの改善がみられた。

■ 2010年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、化学・プラスチックがプラスに反転する一方、電気機械およびその他の製造業がマイナスに沈み、生産財卸もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△7と小幅ながら再び悪化する見通しで、利用回復にはなお遠い。

宅配便利用の実績と見通し

業種	2010年1月～3月実績					2010年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	64	8	70	22	△14	62	8	73	19	△11
繊維・衣服	33	12	55	33	△21	33	12	52	36	△24
木材・家具	33	9	64	27	△18	32	9	63	28	△19
パルプ・紙	30	13	57	30	△17	29	7	72	21	△14
化学・プラスチック	86	14	71	15	△1	86	14	73	13	1
窯業・土石	27	18	52	30	△12	27	14	56	30	△16
鉄鋼・非鉄	63	21	71	8	13	62	16	74	10	6
金属製品	48	14	65	21	△7	48	10	65	25	△15
一般機械	86	19	55	26	△7	86	17	57	26	△9
電気機械	119	28	47	25	3	118	22	50	28	△6
輸送用機械	70	11	66	23	△12	70	8	69	23	△15
精密機械	27	14	56	30	△16	26	19	54	27	△8
その他	43	23	61	16	7	42	21	55	24	△3
計	729	17	61	22	△5	721	14	63	23	△9
卸売業										
生産財	45	20	62	18	2	44	18	64	18	0
消費財	35	8	66	26	△18	33	12	67	21	△9
計	80	15	64	21	△6	77	16	65	19	△3
合計	809	17	61	22	△5	798	15	63	22	△7

(4) 鉄道コンテナ

■ 2010年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、鉄鋼・非鉄など4業種がプラス、生産財卸など11業種がマイナスで、金属製品および輸送用機械を除く9業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△4で、前期（2009年10～12月）実績からは16ポイント上昇した。

■ 2010年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、木材・家具が水面まで戻すものの、電気機械がマイナスに反転し、化学・プラスチックもゼロ水準まで下降する。業種全体の『利用動向指数』は△8と4ポイント悪化する見込みで、利用回復に向けての足取りは重い。

鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業種	2010年1月～3月実績					2010年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	39	7	72	21	△14	39	5	80	15	△10
	繊維・衣服	13	0	85	15	△15	12	0	75	25	△25
	木材・家具	14	7	72	21	△14	14	14	72	14	0
	パルプ・紙	34	15	47	38	△23	33	9	55	36	△27
	化学・プラスチック	76	24	57	19	5	75	17	66	17	0
	窯業・土石	17	12	53	35	△23	17	12	53	35	△23
	鉄鋼・非鉄	37	46	41	13	33	37	38	49	13	25
	金属製品	19	5	84	11	△6	19	5	69	26	△21
	一般機械	31	13	77	10	3	31	16	78	6	10
	電気機械	39	28	57	15	13	38	21	50	29	△8
	輸送用機械	31	23	48	29	△6	31	23	45	32	△9
	精密機械	10	10	60	30	△20	10	0	70	30	△30
	その他	24	12	63	25	△13	24	17	58	25	△8
計	384	19	60	21	△2	380	16	62	22	△6	
卸売業	生産財	12	0	67	33	△33	12	0	67	33	△33
	消費財	12	8	59	33	△25	12	8	50	42	△34
	計	24	4	63	33	△29	24	4	58	38	△34
合計	408	18	60	22	△4	404	15	62	23	△8	

(5) 内航コンテナ

■ 2010年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、輸送用機械、化学・プラスチック、電気機械の3業種がプラスを示すほかは、残り12業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△8で、前期（2009年10～12月）実績より19ポイントの改善がみられた。

■ 2010年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、電気機械が水面下に沈み、輸送用機関もゼロ水準まで低下して、プラスの業種は化学・プラスチックのみとなる。業種全体の『利用動向指数』は4ポイント低下して△12と見込まれ、利用減退が続く見通しである。

内航コンテナ利用の実績と見通し

業種	2010年1月～3月実績					2010年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	27	0	81	19	△ 19	26	3	85	12	△ 9
	繊維・衣服	8	0	63	37	△ 37	8	0	50	50	△ 50
	木材・家具	8	0	63	37	△ 37	8	0	63	37	△ 37
	パルプ・紙	19	6	47	47	△ 41	19	5	53	42	△ 37
	化学・プラスチック	47	23	73	4	19	47	21	75	4	17
	窯業・土石	14	7	79	14	△ 7	14	7	79	14	△ 7
	鉄鋼・非鉄	20	15	60	25	△ 10	20	15	60	25	△ 10
	金属製品	18	5	67	28	△ 23	18	5	67	28	△ 23
	一般機械	28	14	57	29	△ 15	28	14	54	32	△ 18
	電気機械	28	21	65	14	7	28	14	50	36	△ 22
	輸送用機械	26	31	58	11	20	26	19	62	19	0
	精密機械	8	0	63	37	△ 37	8	0	63	37	△ 37
その他	20	10	70	20	△ 10	20	15	60	25	△ 10	
計	271	13	66	21	△ 8	270	12	64	24	△ 12	
卸売業	生産財	7	14	43	43	△ 29	7	14	43	43	△ 29
	消費財	8	0	75	25	△ 25	7	0	86	14	△ 14
	計	15	7	60	33	△ 26	14	7	64	29	△ 22
合計	286	13	66	21	△ 8	284	12	64	24	△ 12	

(6) 国内航空

■ 2010年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、消費財卸が唯一プラスを示す以外は、残り14業種がすべて2ケタのマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△22で、前期（2009年10～12月）実績からは7ポイント上昇した。

■ 2010年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、消費財卸がゼロ水準まで下降し、プラスの業種は皆無となる。業種全体の『利用動向指数』は△25と3ポイント低下する見通しで、国内航空はすべての輸送機関のなかで『利用動向指数』がもっとも低く、利用の減退圧力が大きい。

国内航空利用の実績と見通し

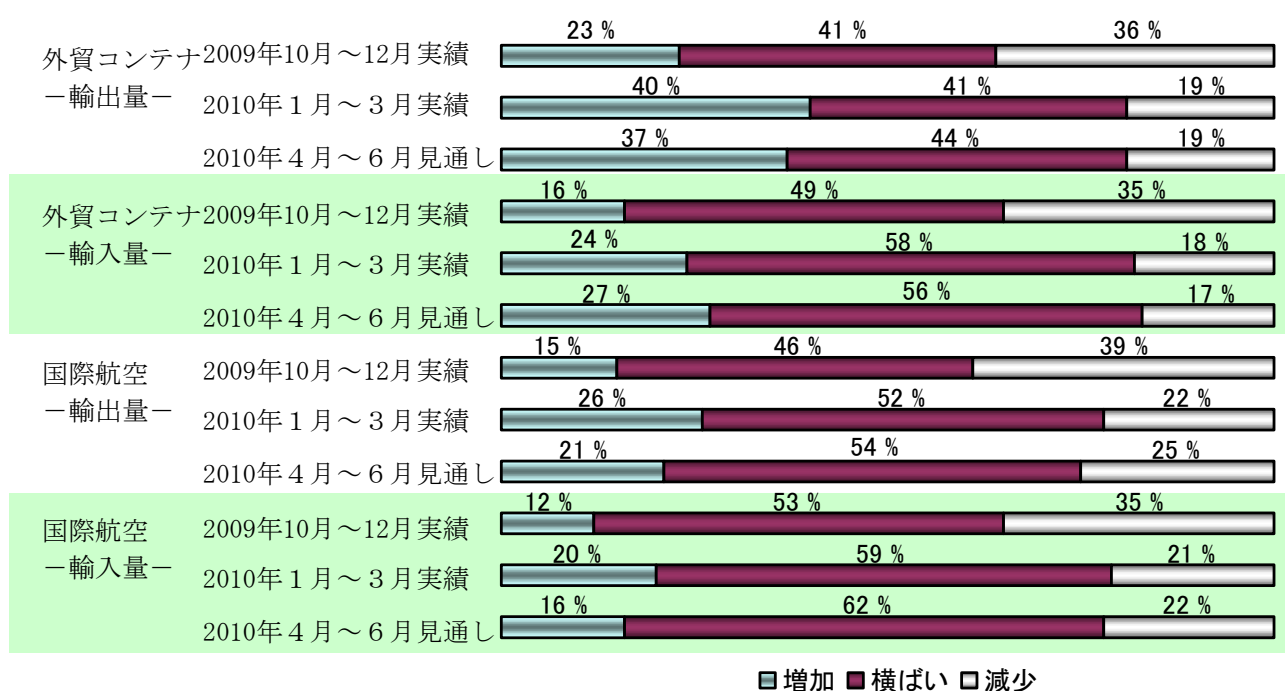
業種	2010年1月～3月実績					2010年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	20	0	75	25	△25	20	0	75	25	△25
繊維・衣服	11	0	64	36	△36	11	0	55	45	△45
木材・家具	8	0	75	25	△25	8	0	75	25	△25
パルプ・紙	5	0	60	40	△40	5	0	60	40	△40
化学・プラスチック	34	5	71	24	△19	34	5	74	21	△16
窯業・土石	11	10	45	45	△35	11	0	55	45	△45
鉄鋼・非鉄	26	12	65	23	△11	26	8	69	23	△15
金属製品	16	12	50	38	△26	16	12	50	38	△26
一般機械	46	6	59	35	△29	46	4	57	39	△35
電気機械	66	15	59	26	△11	65	14	51	35	△21
輸送用機械	27	11	63	26	△15	27	11	59	30	△19
精密機械	16	6	69	25	△19	16	0	75	25	△25
その他	16	6	63	31	△25	16	0	69	31	△31
計	302	8	63	29	△21	301	7	61	32	△25
卸売業										
生産財	14	7	36	57	△50	13	8	38	54	△46
消費財	9	22	67	11	11	9	11	78	11	0
計	23	13	48	39	△26	22	9	55	36	△27
合計	325	8	62	30	△22	323	7	61	32	△25

－ 3. 輸出入貨物量の動向－

■ 2010年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、外貿コンテナ、国際航空とも前期（2009年10～12月）実績から大幅に上昇し、外貿コンテナの輸出・輸入および国際航空の輸出はプラスに反転した。また、国際航空の輸入も△1と水面近くまで戻した。

■ 2010年4～6月の『荷動き指数』見通しについては、外貿コンテナの輸入ではさらに4ポイントの上昇が見込まれるが、それ以外では低下する見通しで、国際航空では輸出・輸入ともマイナスに落ち込む。このため、着実な荷動き回復の動きは期待できない。

輸出入貨物量の実績と見通し



(1) 外貿コンテナ ー輸出ー

■ 2010年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、木材・家具、生産財卸など5業種がマイナス、繊維・衣服がゼロ水準で、残り9業種がプラスを示した。業種全体の『荷動き指数』はプラス21で、前期（2009年10～12月）実績からは34ポイントの大幅な上昇となった。

■ 2010年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、繊維・衣服がマイナスに沈む一方、木材・家具、生産財卸、消費財卸が水面まで上昇するなど、業種によりバラツキがみられるが、業種全体の『荷動き指数』はプラス18と3ポイントの低下で推移しよう。このため、勢いはやや鈍化するものの、荷動きは回復が続く見込みである。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2010年1月～3月実績					2010年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	13	0	92	8	△8	13	0	92	8	△8
	繊維・衣服	12	25	50	25	0	12	17	50	33	△16
	木材・家具	5	0	80	20	△20	5	0	100	0	0
	パルプ・紙	15	40	47	13	27	15	47	40	13	34
	化学・プラスチック	63	54	37	9	45	63	52	40	8	44
	窯業・土石	18	56	39	5	51	18	50	50	0	50
	鉄鋼・非鉄	43	49	35	16	33	43	44	37	19	25
	金属製品	18	50	33	17	33	18	50	33	17	33
	一般機械	56	36	34	30	6	56	45	32	23	22
	電気機械	55	38	44	18	20	55	27	49	24	3
	輸送用機械	53	47	34	19	28	52	29	46	25	4
精密機械	21	29	38	33	△4	20	25	40	35	△10	
その他	26	38	38	24	14	26	42	39	19	23	
計	398	41	40	19	22	396	38	43	19	19	
卸売業	生産財	7	14	57	29	△15	7	29	42	29	0
	消費財	8	12	63	25	△13	8	25	50	25	0
	計	15	13	60	27	△14	15	27	46	27	0
合計	413	40	41	19	21	411	37	44	19	18	

(2) 外貿コンテナ ー輸入ー

■ 2010年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、パルプ・紙、窯業・土石など8業種がプラスを示し、その他の製造業および生産財卸がゼロ水準で、木材・家具など5業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』はプラス6で、前期（2009年10～12月）実績からは25ポイント上昇した。

■ 2010年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、一般機械がプラスに反転し、木材・家具もゼロ水準まで戻すことなどにより、業種全体の『荷動き指数』はプラス10とさらに4ポイントの上昇が見込まれる。このため、荷動きは拡大が続く見通しである。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業種	2010年1月～3月実績					2010年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	16	12	69	19	△7	16	12	69	19	△7
	繊維・衣服	14	21	36	43	△22	14	21	36	43	△22
	木材・家具	9	0	56	44	△44	9	11	78	11	0
	パルプ・紙	10	50	40	10	40	10	50	30	20	30
	化学・プラスチック	56	23	68	9	14	56	25	66	9	16
	窯業・土石	18	39	50	11	28	18	44	50	6	38
	鉄鋼・非鉄	28	18	79	3	15	28	21	72	7	14
	金属製品	16	19	69	12	7	16	25	63	12	13
	一般機械	56	23	52	25	△2	56	25	54	21	4
	電気機械	55	31	49	20	11	55	31	51	18	13
	輸送用機械	50	28	56	16	12	49	29	47	24	5
	精密機械	19	21	47	32	△11	18	22	50	28	△6
その他	26	23	54	23	0	26	31	50	19	12	
計	373	25	57	18	7	371	27	55	18	9	
卸売業	生産財	12	17	66	17	0	12	25	58	17	8
	消費財	15	20	73	7	13	15	27	67	6	21
	計	27	19	70	11	8	27	26	63	11	15
合計	400	24	58	18	6	398	27	56	17	10	

(3) 国際航空 —輸出—

■ 2010年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、繊維・衣服、電気機械など6業種がプラス、食料品・飲料など5業種がゼロ水準で、輸送用機械など4業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』はプラス4で、前期（2009年10～12月）実績からは28ポイント上昇した。

■ 2010年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄、一般機械など5業種がマイナスに落ち込み、繊維・衣服および金属製品もゼロ水準まで下降するなど、過半数の業種で『荷動き指数』が悪化しよう。業種全体の『荷動き指数』は△4と8ポイント低下して再び水面下に沈み、着実な荷動き回復にはなお遠い。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業種	2010年1月～3月実績					2010年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	4	0	100	0	0	4	0	75	25	△ 25
繊維・衣服	9	33	56	11	22	9	22	56	22	0
木材・家具	4	0	100	0	0	4	0	100	0	0
パルプ・紙	2	0	100	0	0	2	0	100	0	0
化学・プラスチック	30	13	67	20	△ 7	30	13	67	20	△ 7
製 窯業・土石	7	29	57	14	15	7	29	57	14	15
造 鉄鋼・非鉄	21	24	57	19	5	21	14	62	24	△ 10
業 金 属 製 品	15	33	40	27	6	15	27	46	27	0
一 般 機 械	56	34	38	28	6	56	30	38	32	△ 2
電 気 機 械	74	38	46	16	22	74	28	49	23	5
輸 送 用 機 械	32	16	50	34	△ 18	32	13	59	28	△ 15
精 密 機 械	20	30	40	30	0	19	26	42	32	△ 6
そ の 他	22	14	68	18	△ 4	22	9	64	27	△ 18
計	296	27	51	22	5	295	22	53	25	△ 3
卸 生 産 財	6	17	50	33	△ 16	6	17	50	33	△ 16
売 消 費 財	8	13	74	13	0	8	12	75	13	△ 1
業 計	14	14	65	21	△ 7	14	14	65	21	△ 7
合 計	310	26	52	22	4	309	21	54	25	△ 4

(4) 国際航空 — 輸入 —

■ 2010年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、電気機械が唯一プラスを示すほかは、食料品・飲料など10業種がゼロ水準で、木材・家具など4業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△1で、前期(2009年10～12月)実績からは22ポイント改善した。

■ 2010年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、繊維・衣服など4業種がマイナスに沈むことなどにより、業種全体の『荷動き指数』は5ポイント低下して△6と見込まれる。このため、早急な荷動きの回復は期待できない。

国際航空による輸入量の実績と見通し

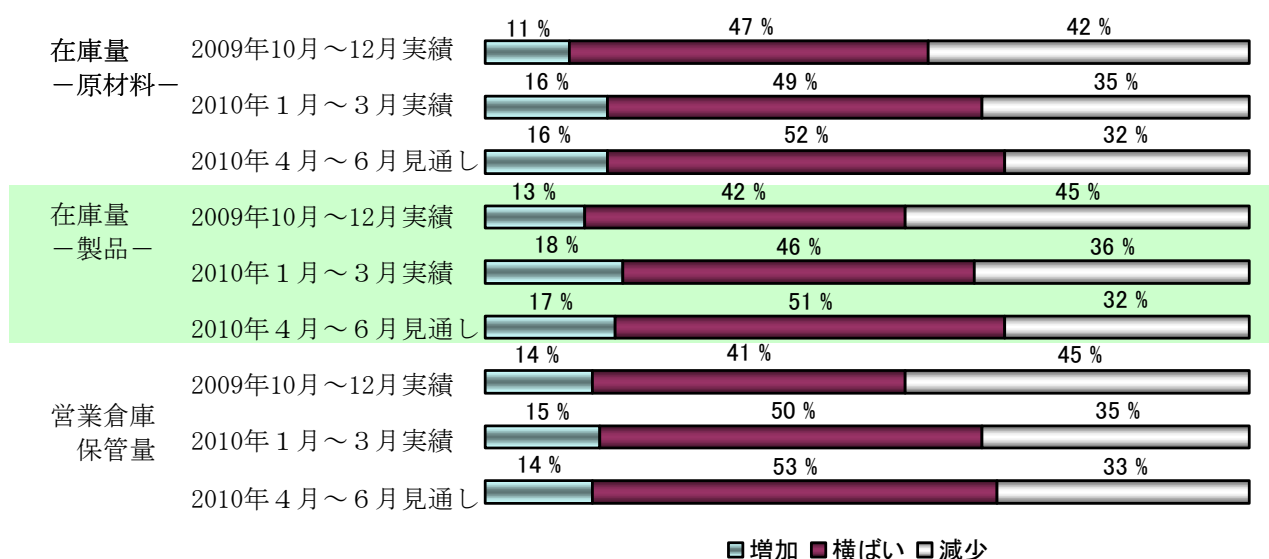
業種	2010年1月～3月実績					2010年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	5	0	100	0	0	5	0	100	0	0
繊維・衣服	7	14	72	14	0	7	14	57	29	△15
木材・家具	5	0	80	20	△20	5	0	80	20	△20
パルプ・紙	1	0	100	0	0	1	0	100	0	0
化学・プラスチック	25	12	76	12	0	25	12	76	12	0
窯業・土石	6	17	66	17	0	6	17	66	17	0
鉄鋼・非鉄	18	17	66	17	0	17	17	59	24	△7
金属製品	15	27	46	27	0	15	13	67	20	△7
一般機械	47	23	49	28	△5	47	17	55	28	△11
電気機械	67	34	45	21	13	67	25	54	21	4
輸送用機械	34	11	65	24	△13	34	15	59	26	△11
精密機械	19	16	68	16	0	18	17	66	17	0
その他	20	10	65	25	△15	20	10	60	30	△20
計	269	20	59	21	△1	267	17	61	22	△5
卸売業										
生産財	8	13	74	13	0	8	13	74	13	0
消費財	9	22	56	22	0	9	11	67	22	△11
計	17	18	64	18	0	17	11	71	18	△7
合計	286	20	59	21	△1	284	16	62	22	△6

－ 4. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

■ 2010年1～3月実績（見込み）の在庫量と営業倉庫利用の動向をみると、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫保管量とも『動向指数』は2ケタのマイナスを示した。前期（2009年10～12月）実績との比較では、すべての『動向指数』で10ポイント以上の改善がみられた。

■ 2010年4～6月の見通しについては、原材料および製品在庫では『動向指数』は3ポイントの改善、営業倉庫保管量では強含み横ばいで推移しよう。このため、在庫圧縮および営業倉庫利用の削減圧力には緩和の兆しが窺えるものの、依然として回復には至らない。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 2010年1～3月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、生産財卸がゼロ水準にとどまるほかは、残りすべての業種がマイナスを示し、鉄鋼・非鉄および輸送用機械の2業種を除いて2ケタのマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△19で、前期（2009年10～12月）実績からは12ポイント改善した。

■ 2010年4～6月の『在庫動向指数』見通しでは、生産財卸がプラスに浮上するほかは、目立った動きはみられず、引き続き残りすべての業種がマイナスを示す。業種全体の『在庫動向指数』は△16と3ポイントの上昇が見込まれるものの、原材料在庫は圧縮が続く見通しである。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2010年1月～3月実績					2010年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	81	5	62	33	△ 28	81	6	73	21	△ 15
	繊維・衣服	35	11	60	29	△ 18	35	9	60	31	△ 22
	木材・家具	36	2	42	56	△ 54	36	6	50	44	△ 38
	パルプ・紙	47	13	51	36	△ 23	47	13	53	34	△ 21
	化学・プラスチック	97	11	63	26	△ 15	97	16	61	23	△ 7
	窯業・土石	36	8	42	50	△ 42	36	11	47	42	△ 31
	鉄鋼・非鉄	98	25	46	29	△ 4	98	25	45	30	△ 5
	金属製品	48	20	40	40	△ 20	48	19	46	35	△ 16
	一般機械	86	15	40	45	△ 30	86	17	37	46	△ 29
	電気機械	116	22	40	38	△ 16	116	18	51	31	△ 13
	輸送用機械	83	21	51	28	△ 7	83	16	51	33	△ 17
	精密機械	26	15	35	50	△ 35	25	24	28	48	△ 24
	その他	48	13	56	31	△ 18	48	17	48	35	△ 18
計	837	15	49	36	△ 21	836	16	51	33	△ 17	
卸売業	生産財	27	19	62	19	0	27	19	67	14	5
	消費財	24	13	58	29	△ 16	24	4	67	29	△ 25
	計	51	15	61	24	△ 9	51	11	67	22	△ 11
合計	888	16	49	35	△ 19	887	16	52	32	△ 16	

(2) 在庫量 —製品—

■ 2010年1～3月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、鉄鋼・非鉄が唯一プラスを示すほかは、残りすべての業種がマイナスで、輸送用機械を除いて2ケタのマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△18で、前期（2009年10～12月）実績との比較では14ポイントの改善がみられた。

■ 2010年4～6月の『在庫動向指数』見通しでも、鉄鋼・非鉄を除くすべての業種がマイナスを示し、大きな動きはみられない。業種全体の『在庫動向指数』は△15と3ポイントの上昇が見込まれ、在庫の圧縮圧力には緩和の兆しが窺えるものの、回復までには至らない。

在庫量（製品）の実績と見通し

業 種	2010年1月～3月実績					2010年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	81	9	56	35	△ 26	81	6	69	25	△ 19
繊維・衣服	40	24	38	38	△ 14	40	17	40	43	△ 26
木材・家具	36	6	33	61	△ 55	36	8	53	39	△ 31
パルプ・紙	51	18	51	31	△ 13	51	14	55	31	△ 17
化学・プラスチック	105	18	48	34	△ 16	105	16	54	30	△ 14
窯業・土石	37	8	46	46	△ 38	37	13	49	38	△ 25
鉄鋼・非鉄	97	27	48	25	2	96	29	44	27	2
金属製品	49	18	43	39	△ 21	49	16	47	37	△ 21
一般機械	88	14	38	48	△ 34	88	16	42	42	△ 26
電気機械	124	23	37	40	△ 17	124	18	48	34	△ 16
輸送用機械	88	23	52	25	△ 2	87	19	52	29	△ 10
精密機械	25	12	36	52	△ 40	24	17	33	50	△ 33
その他	50	16	58	26	△ 10	50	16	58	26	△ 10
計	871	18	46	36	△ 18	868	17	50	33	△ 16
卸売業										
生産財	46	20	43	37	△ 17	46	20	52	28	△ 8
消費財	43	11	63	26	△ 15	43	9	63	28	△ 19
計	89	16	53	31	△ 15	89	15	57	28	△ 13
合計	960	18	46	36	△ 18	957	17	51	32	△ 15

(3) 営業倉庫保管量

■ 2010年1～3月実績（見込み）の『保管動向指数』は、すべての業種がマイナスで、鉄鋼・非鉄および輸送用機械の2業種が1ケタのマイナスにとどまるほかは、残り13業種が2ケタのマイナスを示した。業種全体の『保管動向指数』は△20で、前期（2009年10～12月）実績からは11ポイント上昇した。

■ 2010年4～6月の『保管動向指数』見通しでも、前期同様すべての業種がマイナスを示す。業種全体の『保管動向指数』は△19と強含み横ばいで推移する見込みで、営業倉庫保管量は圧縮が続くとみられる。

営業倉庫保管量の実績と見通し

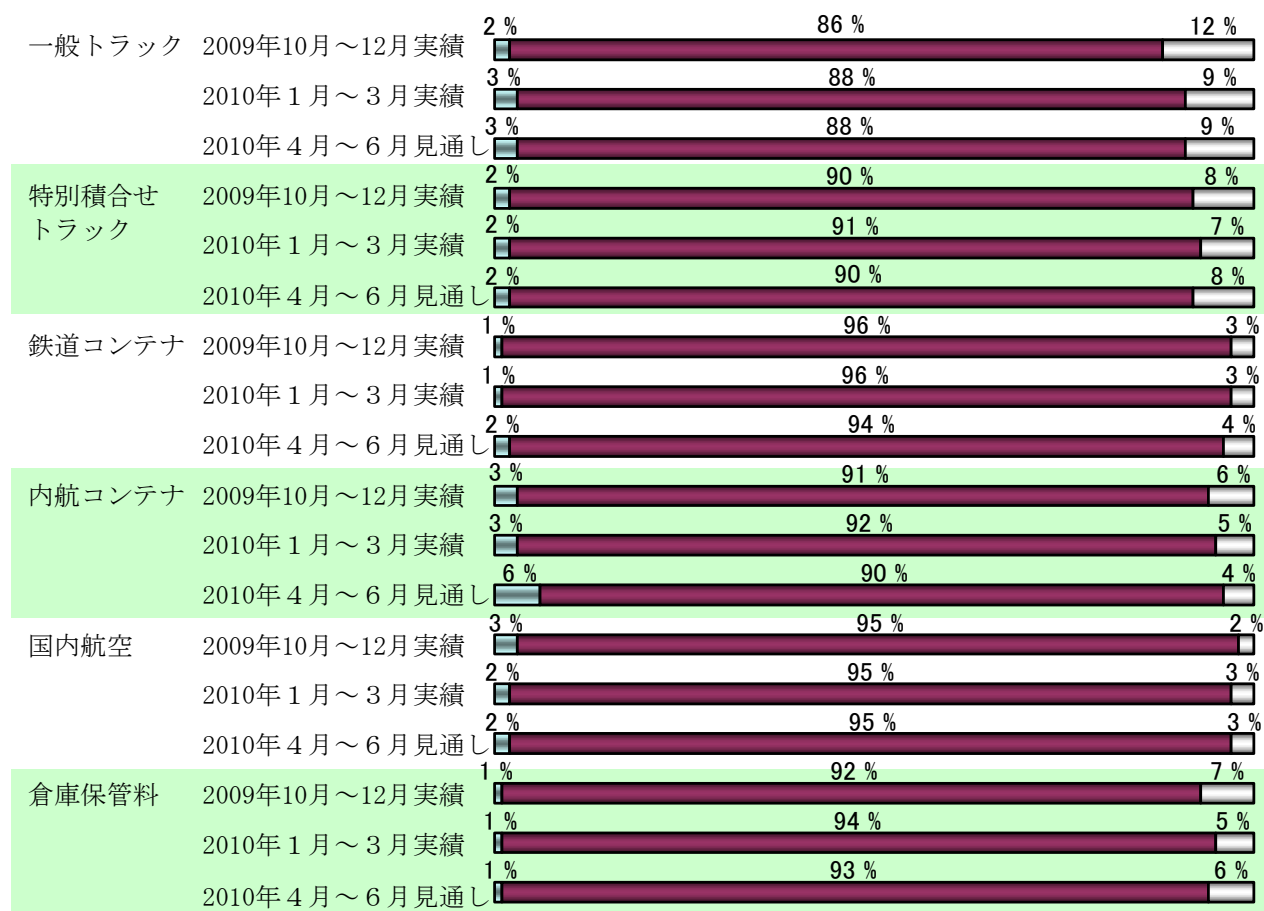
業種	2010年1月～3月実績					2010年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	70	7	60	33	△ 26	69	7	65	28	△ 21
繊維・衣服	22	5	45	50	△ 45	22	4	41	55	△ 51
木材・家具	31	0	39	61	△ 61	31	3	45	52	△ 49
パルプ・紙	36	8	56	36	△ 28	36	5	56	39	△ 34
化学・プラスチック	89	18	49	33	△ 15	88	16	56	28	△ 12
窯業・土石	26	12	50	38	△ 26	26	23	42	35	△ 12
鉄鋼・非鉄	60	20	53	27	△ 7	60	18	55	27	△ 9
金属製品	30	20	50	30	△ 10	30	23	47	30	△ 7
一般機械	62	9	52	39	△ 30	62	14	55	31	△ 17
電気機械	81	18	42	40	△ 22	81	16	44	40	△ 24
輸送用機械	53	25	45	30	△ 5	53	15	45	40	△ 25
精密機械	18	17	50	33	△ 16	17	18	53	29	△ 11
その他	37	16	54	30	△ 14	37	16	49	35	△ 19
計	615	14	50	36	△ 22	612	14	52	34	△ 20
卸売業										
生産財	35	20	46	34	△ 14	35	23	51	26	△ 3
消費財	32	9	57	34	△ 25	32	3	75	22	△ 19
計	67	15	51	34	△ 19	67	13	63	24	△ 11
合計	682	15	50	35	△ 20	679	14	53	33	△ 19

－ 5. 運賃・料金の動向－

■ 2010年1～3月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、すべての機関でマイナスを示したが、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空では僅かなマイナスにとどまった。前期（2009年10～12月）実績との比較では、総じて小幅の変動で推移した。

■ 2010年4～6月の『動向指数』見通しについては、内航コンテナで4ポイント上昇してプラスに反転する以外は概ね横ばいで推移しよう。この結果、運賃・料金水準は、内航コンテナでは緩やかな上昇が見込まれるが、鉄道コンテナおよび国内航空では弱含み、一般トラック、特別積合せトラック、倉庫保管料では低下が続くとみられる。

運賃・料金の実績と見通し



■ 値上り ■ 変わらず □ 値下り

(1) 一般トラック運賃

■ 2010年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、すべての業種がマイナスを示した。業種全体の『運賃動向指数』は△6で、前期(2009年10～12月)実績からは4ポイント上昇した。

■ 2010年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、木材・家具が唯一水面まで上昇する以外、目立った動きはみられず、残り14業種が引き続きマイナスを示す。業種全体の『運賃動向指数』も横ばいで推移する見通しで、運賃水準は低下が続くとみられる。

一般トラック運賃の実績と見通し

業種	2010年1月～3月実績					2010年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	96	1	92	7	△6	94	2	93	5	△3	
繊維・衣服	35	0	94	6	△6	35	0	89	11	△11	
木材・家具	38	3	89	8	△5	38	5	90	5	0	
パルプ・紙	51	4	88	8	△4	51	2	88	10	△8	
化学・プラスチック	105	2	89	9	△7	103	3	89	8	△5	
製造業	窯業・土石	36	3	86	11	△8	36	0	86	14	△14
	鉄鋼・非鉄	104	4	83	13	△9	103	5	85	10	△5
	金属製品	52	0	90	10	△10	52	0	90	10	△10
	一般機械	90	4	90	6	△2	90	2	88	10	△8
	電気機械	129	2	89	9	△7	128	2	85	13	△11
	輸送用機械	86	5	81	14	△9	85	5	82	13	△8
	精密機械	23	4	87	9	△5	22	5	86	9	△4
	その他	52	0	94	6	△6	52	0	94	6	△6
	計	897	3	88	9	△6	889	2	88	10	△8
	卸売業	生産財	48	0	94	6	△6	48	0	98	2
消費財		43	5	81	14	△9	43	4	84	12	△8
計		91	2	88	10	△8	91	2	91	7	△5
合計	988	3	88	9	△6	980	3	88	9	△6	

(2) 特別積合せトラック運賃

■ 2010年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、プラスの業種は一般機械のみで、残りすべての業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△5で、前期（2009年10～12月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 2010年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、木材・家具およびその他の製造業がゼロ水準まで戻す一方、一般機械がマイナスに反転するなど業種によりバラツキがみられるが、業種全体の『運賃動向指数』は弱含み横ばいでの推移が見込まれる。このため、運賃水準は低下が続く見通しである。

特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業種	2010年1月～3月実績					2010年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	59	1	92	7	△6	58	3	90	7	△4
繊維・衣服	38	0	97	3	△3	38	0	95	5	△5
木材・家具	26	4	88	8	△4	26	8	84	8	0
パルプ・紙	29	7	79	14	△7	29	3	80	17	△14
化学・プラスチック	89	3	90	7	△4	87	3	91	6	△3
窯業・土石	26	0	92	8	△8	26	0	92	8	△8
鉄鋼・非鉄	66	2	92	6	△4	66	1	94	5	△4
金属製品	42	0	93	7	△7	42	0	93	7	△7
一般機械	69	3	96	1	2	69	3	91	6	△3
電気機械	94	2	92	6	△4	94	4	87	9	△5
輸送用機械	63	5	84	11	△6	63	5	84	11	△6
精密機械	16	6	75	19	△13	15	7	73	20	△13
その他	42	0	98	2	△2	42	2	96	2	0
計	659	2	91	7	△5	655	3	90	7	△4
卸売業										
生産財	35	0	97	3	△3	35	0	97	3	△3
消費財	28	0	86	14	△14	28	0	86	14	△14
計	63	0	92	8	△8	63	0	92	8	△8
合計	722	2	91	7	△5	718	2	90	8	△6

(3) 鉄道コンテナ運賃

■ 2010年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、窯業・土石が唯一プラスを示し、繊維・衣服など7業種がゼロ水準で、精密機械など7業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△2で、前期（2009年10～12月）実績からは横ばいで推移した。

■ 2010年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、木材・家具および輸送用機械がプラスに上昇する一方、繊維・衣服およびその他の製造業がマイナスに沈むなど、業種によりバラツキがみられるが、業種全体の『運賃動向指数』は引き続き横ばいで推移する見通しである。この結果、運賃水準は小幅ながら低下が続くとみられる。

鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業 種	2010年1月～3月実績					2010年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	41	0	98	2	△ 2	40	3	94	3	0
	繊 維 ・ 衣 服	11	0	100	0	0	10	0	90	10	△ 10
	木 材 ・ 家 具	15	0	100	0	0	15	7	93	0	7
	パ ル プ ・ 紙	33	0	97	3	△ 3	33	0	91	9	△ 9
	化学・プラスチック	74	0	99	1	△ 1	72	0	97	3	△ 3
	窯 業 ・ 土 石	17	6	94	0	6	17	6	94	0	6
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	37	0	97	3	△ 3	37	0	97	3	△ 3
	金 属 製 品	21	0	100	0	0	21	0	100	0	0
	一 般 機 械	32	0	94	6	△ 6	32	0	94	6	△ 6
	電 気 機 械	38	3	92	5	△ 2	38	3	92	5	△ 2
	輸 送 用 機 械	30	7	86	7	0	30	10	83	7	3
	精 密 機 械	9	0	89	11	△ 11	9	0	89	11	△ 11
	そ の 他	22	0	100	0	0	22	0	95	5	△ 5
計	380	1	96	3	△ 2	376	2	94	4	△ 2	
卸 売 業	生 産 財	12	0	100	0	0	12	0	100	0	0
	消 費 財	10	0	100	0	0	10	0	100	0	0
	計	22	0	100	0	0	22	0	100	0	0
合 計	402	1	96	3	△ 2	398	2	94	4	△ 2	

(4) 内航コンテナ運賃

■ 2010年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、生産財卸など5業種がプラス、繊維・衣服など4業種がゼロ水準で、木材・家具など6業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△2で、前期（2009年10～12月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 2010年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、繊維・衣服がマイナスに沈むものの、パルプ・紙および電気機械がゼロ水準まで戻すことなどにより、業種全体の『運賃動向指数』は4ポイント上昇してプラス2と、水面上に浮上しよう。この結果、運賃水準は緩やかながら上昇に転じる見通しである。

内航コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2010年1月～3月実績					2010年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	24	0	92	8	△8	24	4	88	8	△4
	繊維・衣服	8	0	100	0	0	8	0	88	12	△12
	木材・家具	10	0	80	20	△20	10	0	80	20	△20
	パルプ・紙	19	0	95	5	△5	19	5	90	5	0
	化学・プラスチック	47	6	94	0	6	47	9	91	0	9
	窯業・土石	14	7	93	0	7	14	21	79	0	21
	鉄鋼・非鉄	22	0	91	9	△9	22	0	91	9	△9
	金属製品	18	0	100	0	0	18	0	100	0	0
	一般機械	28	4	96	0	4	28	4	96	0	4
	電気機械	28	0	93	7	△7	27	4	92	4	0
	輸送用機械	25	12	80	8	4	25	12	84	4	8
	精密機械	7	0	86	14	△14	7	0	71	29	△29
	その他	19	5	90	5	0	19	5	90	5	0
計	269	3	92	5	△2	268	6	90	4	2	
卸売業	生産財	7	14	86	0	14	7	14	86	0	14
	消費財	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0
	計	15	7	93	0	7	15	7	93	0	7
合計	284	3	92	5	△2	283	6	90	4	2	

(5) 国内航空運賃

■ 2010年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、一般機械が唯一プラスを示し、食料品・飲料など8業種がゼロ水準で、生産財卸など6業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△1で、前期（2009年10～12月）実績からは2ポイント低下した。

■ 2010年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、繊維・衣服および精密機械がマイナスに落ち込む一方、輸送用機械がプラスに反転するなど、業種により若干のバラツキがみられるが、業種全体の『運賃動向指数』は横ばいで推移しよう。このため、運賃水準は弱含みが続く見通しである。

国内航空運賃の実績と見通し

業種	2010年1月～3月実績					2010年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	20	0	100	0	0	20	0	100	0	0
	繊維・衣服	11	0	100	0	0	11	0	91	9	△9
	木材・家具	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0
	パルプ・紙	5	0	100	0	0	5	0	100	0	0
	化学・プラスチック	35	0	97	3	△3	35	0	97	3	△3
	窯業・土石	10	0	100	0	0	10	0	100	0	0
	鉄鋼・非鉄	25	0	96	4	△4	25	0	96	4	△4
	金属製品	17	0	100	0	0	17	0	100	0	0
	一般機械	47	9	91	0	9	47	6	92	2	4
	電気機械	64	0	97	3	△3	64	0	98	2	△2
	輸送用機械	27	4	89	7	△3	27	7	89	4	3
	精密機械	17	6	88	6	0	16	6	81	13	△7
	その他	18	0	94	6	△6	18	0	94	6	△6
計	305	2	95	3	△1	304	2	95	3	△1	
卸売業	生産財	13	0	92	8	△8	13	0	92	8	△8
	消費財	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0
	計	21	0	95	5	△5	21	0	95	5	△5
合計	326	2	95	3	△1	325	2	95	3	△1	

(6) 営業倉庫保管料金

■ 2010年1～3月実績（見込み）の『料金動向指数』は、化学・プラスチックおよび金属製品の2業種がプラス、繊維・衣服など3業種がゼロ水準で、残り10業種がマイナスを示した。業種全体の『料金動向指数』は△4で、前期(2009年10～12月)実績からは小幅の上昇で推移した。

■ 2010年4～6月の『料金動向指数』見通しでは、一部業種を除いて大きな動きは窺えず、業種全体の『料金動向指数』は弱含み横ばいでの推移が見込まれる。このため、料金水準は引き続き低下する見通しである。

営業倉庫保管料金の実績と見通し

業種	2010年1月～3月実績					2010年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	54	0	93	7	△7	53	0	92	8	△8
繊維・衣服	18	0	100	0	0	18	0	94	6	△6
木材・家具	18	0	89	11	△11	18	0	94	6	△6
パルプ・紙	30	0	93	7	△7	30	0	93	7	△7
化学・プラスチック	85	2	97	1	1	84	3	92	5	△2
窯業・土石	20	0	95	5	△5	20	0	100	0	0
鉄鋼・非鉄	52	0	100	0	0	52	0	100	0	0
金属製品	25	4	96	0	4	25	4	96	0	4
一般機械	59	0	95	5	△5	59	0	92	8	△8
電気機械	74	0	92	8	△8	74	0	92	8	△8
輸送用機械	53	0	89	11	△11	52	0	92	8	△8
精密機械	15	7	73	20	△13	14	7	64	29	△22
その他	32	0	97	3	△3	32	0	91	9	△9
計	535	1	94	5	△4	531	1	93	6	△5
卸売業										
生産財	27	4	92	4	0	27	4	92	4	0
消費財	22	0	95	5	△5	22	0	95	5	△5
計	49	2	94	4	△2	49	2	94	4	△2
合計	584	1	94	5	△4	580	1	93	6	△5

－ 6. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、2010年1～3月実績（見込み）の『動向指数』は、窯業・土石、生産財卸など7業種がプラス、精密機械がゼロ水準で、金属製品、化学・プラスチックなど7業種がマイナスとなった。業種全体の『動向指数』は△4で、前期（2009年10～12月）実績からは小幅の上昇がみられた。

■ 2010年4～6月の『動向指数』見通しでは、食料品・飲料がプラスに反転する一方、鉄鋼・非鉄がマイナスに落ち込むなど、業種によりバラツキがみられるが、業種全体の『動向指数』は強含み横ばいで推移しよう。この結果、物流コスト割合は緩やかながら低下が続く見通しである。

物流コスト割合の実績と見通し

業 種	2010年1月～3月実績					2010年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降		
製 造 業	食料品・飲料	99	13	72	15	△ 2	98	13	76	11	2
	繊維・衣服	43	19	51	30	△ 11	43	7	60	33	△ 26
	木材・家具	38	26	53	21	5	38	26	56	18	8
	パルプ・紙	52	17	70	13	4	52	13	75	12	1
	化学・プラスチック	106	11	64	25	△ 14	106	13	66	21	△ 8
	窯業・土石	38	21	66	13	8	38	24	63	13	11
	鉄鋼・非鉄	106	23	59	18	5	106	17	65	18	△ 1
	金属製品	54	17	50	33	△ 16	54	20	52	28	△ 8
	一般機械	94	23	59	18	5	94	20	60	20	0
	電気機械	137	24	49	27	△ 3	137	21	54	25	△ 4
	輸送用機械	89	17	54	29	△ 12	89	17	53	30	△ 13
	精密機械	27	19	62	19	0	26	19	62	19	0
その他	54	11	67	22	△ 11	54	15	61	24	△ 9	
計	937	19	59	22	△ 3	935	17	62	21	△ 4	
卸 売 業	生産財	56	20	66	14	6	56	16	73	11	5
	消費財	49	18	66	16	2	49	16	68	16	0
	計	105	19	66	15	4	105	16	71	13	3
合 計	1,042	18	60	22	△ 4	1,040	17	63	20	△ 3	